



# 馬驍水墨画会報

〔平成十五年一月一日〕  
— 第十号 —

## 「馬驍水墨画会新作発表展」開催される

発行所 馬驍水墨画会全国本部事務局  
〒170-0013 東京都豊島区東池袋五丁三十九-十六 グランドメゾン東池袋101  
馬驍水墨画展示館内 電話／03（3987）7474



本年度9月30日から11月10日まで5期に分けて新作発表展が馬驍水墨画展示館に於いて開催されました。今回の展覧会の目的は、会員の皆様の日頃の勉強の成果を発表し、今後の更なるレベルアップと芸術性の追求を深めることです。その主旨に沿って、作品の一点一点に馬・王両先生から懇切丁寧に講評が贈られました。作品内容の観点・題材・主題・発想・イメージ表現

など)と技術的観点(構図、伝統継承と新しい芸術表現など)の両面から、今後努力すべき点を総括して指導が行われました。兩先生は今回の新作展について次のように語っています。

「前回より良い作品の数が増え、皆様の努力と進歩が見られ、全体にレベルアップしています。表現内容も、花鳥・山水・人物、裸婦、寓意的な想像の絵、半抽象的な絵など豊富で、心の表現が画面から伝わってくる作品も多く、全体統一の感覚など認識を深めていたり」と評されました。

方々が画会の展覧会に興味を持っていることが判り、案内状を追加配布したところ、来場者が急に増えました(延べ来場者80余名)。この事から、私たち画会の展覧会は外部の方々にも注目され、多大な影響を与えているに違いないと思われます。

出品者からは、「今回の新作発表展で大変勉強になり、得たものは大きい、時にはこの様な形式

皆様にご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。柏木美保子・田口婦美子・根岸協子・新田邦子・原田利子・水上令子・山口泰子・山崎重之・山崎發江(敬称略)また、各会期の展示、会場当番、搬出入などにご協力いただきました皆様にも厚く御礼申し上げます。

●書画一体の美 (平成13年10月6日)  
書には疏と密の変化があり、空白を用いて全体のバランスを保っている。様々な書法によりその質感が表現できる。書法の用筆の剛柔、曲直、流利、頓挫、軽重、遲速などの変化は水墨画



## 謹賀新年

明けまして、おめでとうございます。今年は末年。未は古来より、めでたく温和な動物として親しまれています。

また、群れをなすことから、一致和合のシンボルともされています。

「未歳」を迎えるにあたり、今年一年の皆さまのご多幸を祈念いたします。新しい年が希望に満ちた素晴らしい一年になりますように。

また、本年より約三年間中断しておりました定期講座を再開する予定です。ご期待ください。

主宰 馬驍

小品は実用と芸術との結びつきが強い。小品であっても六面

が画面から伝わってくる作品も多く、全体統一の感覚などを認識を深めていたり」と評されました。

各会期初日の展示館は、講評を聞く大勢の熱気で溢れ、会員の交友も更に深まり、温もりの広がる意義深い展覧会となりました。

●小品水墨画を描く (平成14年2月21日)  
色紙、短冊など他人にプレゼントしたり、絵手紙の様にコミュニケーションとしての効果がある。小品を創作するには、大胆に省略する必要がある。特に省略の筆使い、また、色使い等が必要である。

馬驍先生は、参加者持参の作品を抜粋して講評並びに創作の方法、心構えを話されました。写真とか写生とかお手本等を、そのままでもどんな上手に描いてしまうと強く主張されました。自然や生活の中より創作して、その中で美的な部分を極み取るため、写生や良い資料が大変必要であることを強調されました。これをもとに組合せ、分

特別集中講座  
(水墨画と芸術についてシリーズ)  
— 平成14年度開催分を振り返って —



敵する事により芸術を追求した作品を創作していくことに繋がることを教えてくださいました。良い資料をもとに、まだ誰も発想していないものを創作する努力をして欲しい。

創作のための重要な要素を、教材を通して懇々と指導いたしました。良き資料をもとに、まだ誰も発想していないものを創作する努力をして欲しい。

例法を用いたり、コピーを利用して小型の草稿を拡大し、作品を完成させる方法などを教材より学びました。

### シリーズNo.9

● 平成14年6月28日

鉛筆草稿から作品への制作プロセス（小型草稿から拡大完成図まで）

周莊の風景、あじさいと蛙、カタツムリ等を題材に、実演を交えながら作品への制作プロセスを指導されました。正方形比

三年間に亘るハビリの期間もずっと、水墨画藝術の研究と創作活動に挑戦を続けられた馬驥先生の努力が

新作「澆墨」が完成しました。周莊の風景、あじさいと蛙、カタツムリ等を題材に、実演を交えながら作品への制作プロセスを指導されました。正方形比

ナミズムを鮮やかに描き出す画風そのままに、水墨藝術や現実を超越した深玄渙渾たる世界が

より創作する様、頑張って欲しい」という先生の励ましの言葉が切々と伝わってくるシリーズでした。

強く印象付けるものでした。

会場には連日多数の来場者が訪れ、真剣に作品を鑑賞していました。

早く印象付けるものでした。

会場には連日多数の来場者が訪れ、真剣に作品を鑑賞していました。

強く印象付けるものでした。

会場には連日多数の来場者が訪れ、真剣に作品を鑑賞していました。

強く印象付けるものでした。

会場には連日多数の来場者が訪れ、真剣に作品を鑑賞していました。

強く印象付けるものでした。

会場には連日多数の来場者が訪れ、真剣に作品を鑑賞していました。

王荻地先生をお迎えして、延べ百十名の受講生に新刊画集「墨彩の華」のボビー・牡丹・野の花・野菜などの描法を実演して頂きました。受講生が収集した沢山の秋の野の花をテーマにして即興での実演が行われましたが、その筆先から生まれる華麗で優雅な花々の画に感嘆のため息や感激の波が起り、熱い雰囲気のうちに二日間が終わりました。先生のまごころ溢れる授業に受講生一同心をうたれました。

美術館会場会員、お出迎え、ビデオ係り、カメラ、懇親会など役割分担を行い、満足なく大成功でございました。ハードなスケジュールにもかかわらず、ひたら講習に打ち込んで下さいました王先生に厚く御礼申しあげます。

いまだあの時の興奮と感動の余韻が受講生の間で鳴り止まない日々で御座います。また最初から打ち合はず、企画にお力添え下さいました柏木様にも心より御礼申しあげます。NHK文化センター長からも大変満足な喜びの言葉を頂きました。ひとえに先生のご誠意のたまもので御座います。ありがとうございました。

また、このような貴重な機会を頂けることを、受講生一同心より祈念しております。

馬驥・王荻地両先生の益々のご発展と会員皆様のご活躍をお祈りして報告に代えさせて頂きます。



10月31日、NHK福岡文化センターにて開催された「王荻地特別講座」の授業風景

王荻地先生をお迎えして、延べ百十名の受講生に新刊画集「墨彩の華」のボビー・牡丹・野の花・野菜などの描法を実演して頂きました。受講生が収集した沢山の秋の野の花をテーマにして即興での実演が行われましたが、その筆先から生まれる華麗で優雅な花々の画に感嘆のため息や感激の波が起り、熱い雰囲気のうちに二日間が終わりました。先生のまごころ溢れる授業に受講生一同心をうたれました。

美術館会場会員、お出迎え、ビデオ係り、カメラ、懇親会など役割分担を行い、満足なく大成功でございました。ハードなスケジュールにもかかわらず、ひたら講習に打ち込んで下さいました王先生に厚く御礼申しあげます。

いまだあの時の興奮と感動の余韻が受講生の間で鳴り止まない日々で御座います。また最初から打ち合はず、企画にお力添え下さいました柏木様にも心より御礼申しあげます。NHK文化センター長からも大変満足な喜びの言葉を頂きました。ひとえに先生のご誠意のたまもので御座います。ありがとうございました。

また、このような貴重な機会を頂けることを、受講生一同心より祈念しております。

馬驥・王荻地両先生の益々のご発展と会員皆様のご活躍をお祈りして報告に代えさせて頂きます。

いまだあの時の興奮と感動の余韻が受講生の間で鳴り止まない日々で御座います。また最初から打ち合はず、企画にお力添え下さいました柏木様にも心より御礼申しあげます。NHK文化センター長からも大変満足な喜びの言葉を頂きました。ひとえに先生のご誠意のたまもので御座います。ありがとうございました。

また、このような貴重な機会を頂けることを、受講生一同心より祈念しております。

馬驥・王荻地両先生の益々のご発展と会員皆様のご活躍をお祈りして報告に代えさせて頂きます。

※本部注：特別講座開催に当たり、鶴田・多郎浦・橋本・平山 様をはじめ特別会員の皆様には準備全般で格別お世話になりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

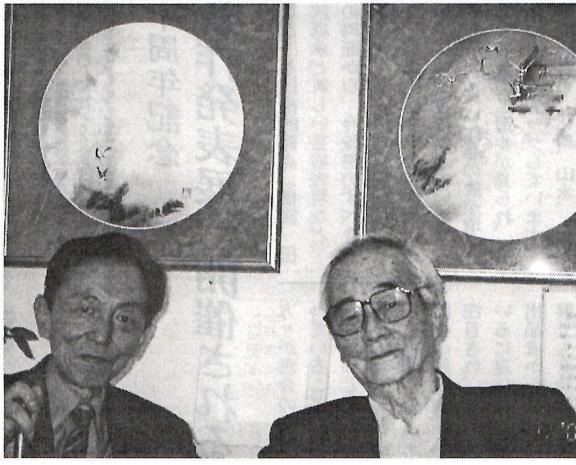
（2）馬驥水墨画会報 No.10

会期：平成14年6月26日[水]～7月2日[火]（最終日4時30分終了）  
会場：伊勢丹新宿 本館5階 アートギャラリー

新作「喜びも悲しみも幾年月」を前に作曲家・木下忠司氏と会場で。馬驥先生は、次回個展に向け、独り向けて、自分の手法による澆墨と墨色に高められました。新作を経て、精神性が高められました。新作に対する賛美の声が寄せられました。これまで定評のあった大自然のダイ

## 響・魂・禅—墨の舞 第13回馬驥水墨画芸術展

会期：平成14年6月26日[水]～7月2日[火]（最終日4時30分終了）  
会場：伊勢丹新宿 本館5階 アートギャラリー



新作水墨画「喜びも悲しみも幾年月」を前に作曲家・木下忠司氏と会場で。

馬驥先生は、次回個展に向け、独り向けて、自分の手法による澆墨と墨色に高められました。新作を経て、精神性が高められました。新作に対する賛美の声が寄せられました。これまで定評のあった大自然のダイ

加わり、より深く禅の世界へと踏み出した作品は、芸術性が一層昇華され、馬驥先生の復帰をしていただけた日が楽しみです。再び素晴らしい新作を見せてください。

馬驥先生は、次回個展に向け、独り向けて、自分の手法による澆墨と墨色に高められました。新作を経て、精神性が高められました。新作に対する賛美の声が寄せられました。これまで定評のあった大自然のダイ

### 平成14年度の画会活動

役員会	日時・平成14年6月10日	会場・馬驥水墨画展示館	出席者	議題
第5回東京第3支部展 4月28日～30日 東京芸術劇場展示室2	6月13日～19日 第10回静岡支部展	6月13日～19日 しづぎんギャラリー四季	馬驥・王荻地両先生 副会長・常任理事 副支部長 計24名	「新作発表展」の実施要綱 出品規定、展示期日、展示方法の検討 「新作発表展」の実施要綱
第8回埼玉支部展 9月19日～22日 草加市アーツギャラリー南館	8月1日～4日 第8回多摩支部展 大崎O美術館2号館	7月12日～17日 国分寺しホール8階		
第9回多摩支部展 9月30～11月10日 5期に分け展示館にて実施	11月12日～19日 第4回東京第4支部展 伊勢丹新宿店本館美術画廊	11月12日～19日 しづぎんギャラリー四季		

### 馬驥先生の定期講座3月再開予定

研修コース(月1回)  
第1月曜日 午後2:30～4:30

師範コース(月1回)  
第2月曜日 午後2:30～4:30

1月2月を募集期間として3月開始予定です。  
詳しくは馬驥水墨画展示館(03-3987-7474)まで。

### 2003年(平成15年)の行事予定

馬驥定期講座再開 3月開講予定 馬驥水墨画展示館	馬驥定期講座再開 3月開講予定 馬驥水墨画展示館
会場／日程ともに未定	会場／日程ともに未定
第5回東京第4支部展 5期に分け展示館にて実施	第5回東京第4支部展 5期に分け展示館にて実施
国分寺しホール8階	国分寺しホール8階
第9回多摩支部展 9月30～11月10日 5期に分け展示館にて実施	第9回多摩支部展 9月30～11月10日 5期に分け展示館にて実施
第11回静岡支部展 11月下旬予定 伊勢丹新宿店本館美術画廊	第11回静岡支部展 11月下旬予定 伊勢丹新宿店本館美術画廊
馬驥水墨画会 創立25周年記念展 6月19日(木)～24日(火)	馬驥水墨画会 創立25周年記念展 6月19日(木)～24日(火)
東京芸術劇場 6月1日(金)～4日(火)	東京芸術劇場 6月1日(金)～4日(火)
横浜市民ギャラリー 3月19日(木)～24日(火)	横浜市民ギャラリー 3月19日(木)～24日(火)
2F展示室	2F展示室

# 特集「中国・江南スケッチ研修の旅」

旅の思い出を語っていただきました。



中国・江南スケッチ研修の旅

10月14日上海新空港着。アジア随一を誇る高さの「東方明珠電視塔」から眺める上海市街は、圧倒されるほどの高層ビル群が林立し、上海の経済成長に驚異を感じました。租界地の面影を残す和平飯店に泊まり、上海名物のオールド・ジャズバンド演奏で酔い、古き時代を偲ぶことができました。

外灘の夜景は暗闇にイルミネーションが美しく映えて、川面にもまばゆいほど映り輝く光景で、まさに御伽の国のロマンチックな夜でした。

16日は午前5時より周庄を自由散策しました。彫刻のある煉瓦造りの屋根と白壁の建物が水面に映る古い街「水の都」と云うにふさわしい所です。細い路地を歩き、十字路の川の合流点に向かうと、大変ユニークな石造りのアーチ型双橋に差し掛かります。石組で作ったアーチ橋

小舟で橋下をくぐりながら眺める水郷風景に、さらに風情を感じます。石舟で橋下をくぐりながら眺める水郷風景に、さらに風情を感じます。アジア随一を誇る高さの「東方明珠電視塔」から眺める上海市街は、圧倒されるほどの高層ビル群が林立し、上海の経済成長に驚異を感じました。租界地の面影を残す和平飯店に泊まり、上海名物のオールド・ジャズバンド演奏で酔い、古き時代を偲ぶことができました。

家々の明かりが水面に幻想的に映りだししました。夕暮れが迫り、束の間に夕暮れが迫ります。そこには古い家、橋、舟、水が詩情豊かな趣をたたえ、期待通りの水郷風景です。各自自由にスケッチを始めました。

17日には馬驍先生による「上海水墨画教室」が開催され、参加者各自のスケッチの講評や、描法の実演が行われました。その鮮やかな筆さばきに感嘆の溜め息が漏れました。その後、上海馬驍事務所も訪問し、一同和やかに過ごしました。タ怪の仕度をする人、影、竈の火、釜などから現地の生活の一端を見ることができました。

18日の最後の会食には、以前大変お世話になった丁義元先生と思いつづけ一緒に、七年前の写真を懐かしみながら、「あの頃は若かったね」と談笑しました。

スケジュール盛り沢山の旅は、大変有意義で、5日間でも10日間程の充実感があり、思い出も堪能できましたし、買い物も

10月15日、朝5時起床。ほの暗いビルの谷間より昇る太陽が朝もやの中の建物を照らし、スケッチをする参加者の顔をオレンジ色に染めゆく様は、大変感動的でした。

上海から蘇州へ。「楓橋夜泊」で有名な寒山寺や名園の拙政園、虎丘斜塔などの景勝地を訪問。いよいよ江南用直へ。ここは古い家、橋、舟、水が詩情豊かな趣をたたえ、期待通りの水郷風景です。各自自由にスケッチを始めました。

海水墨画教室」が開催され、参加者各自のスケッチの講評や、描法の実演が行われました。その鮮やかな筆さばきに感嘆の溜め息が漏れました。その後、上海馬驍事務所も訪問し、一同和やかに過ごしました。

今年は丁度「日中國交正當化30周年記念」に当り、馬驍先生、王荻地先生とご一緒に私達参加者24名は水郷の街・江南地方へ、楽しく有意義な旅をしました。何よりも嬉しかった事は、馬驍先生が大変お元気でご同行下さい、スケッチの時も参加者全員に心を配りご指導いただけた事です。

上海和平飯店での上海バンド演奏の折、先生は演奏家の素描を早速なさい、一時も無駄にしない事を教えられました。朝5時のスケッチは闇の中の近代的高層ビルのシルエットが印象的でした。そして憧れの蘇州、周庄へ。水郷スケッチでは、ゆっくりと写生する人、小舟遊覧する人、各自思い思いに自由行動を楽しみ充実した時間を過ごしました。観光客や外国人以外に中国の方々も多く、この国が経済的に豊かになつた事を肌感じました。

最終日は一同スケッチブックを並べ、馬驍先生から一人ずつ丁寧に講評して頂きました。フィナーレは先生のご自宅(馬驍上海事務所)へ伺う事ができました。私の下手な踊りと突然の思ひぬ同好の友の飛び入り

に当時の中国人の造形能力と技術、芸術性の高さを感じました。小舟に乗り、橋下を潜りながら見る水郷風景には、一層の風情を感じ、私達のスケッチを覗き見る現地の人達と身振り手振りの触れ合いも良い思い出となりました。馬驍先生、王先生とともに精力的にスケッチ指導してくださいました。ちょっと鉛筆で書き足すことで、ポイントの橋を強調したり、樹木や建物の重なりの描き方や水面の影と小舟等の描法を説明して頂きました。

17日には馬驍先生による「上海水墨画教室」が開催され、参加者各自のスケッチの講評や、描法の実演が行われました。その鮮やかな筆さばきに感嘆の溜め息が漏れました。その後、上海馬驍事務所も訪問し、一同和やかに過ごしました。

今年は丁度「日中國交正當化30周年記念」に当り、馬驍先生、王荻地先生とご一緒に私達参加者24名は水郷の街・江南地方へ、楽しく有意義な旅をしました。何よりも嬉しかった事は、馬驍先生が大変お元気でご同行下さい、スケッチの時も参加者全員に心を配りご指導いただけた事です。

上海和平飯店での上海バンド演奏の折、先生は演奏家の素描を早速なさい、一時も無駄にしない事を教えられました。朝5時のスケッチは闇の中の近代的高層ビルのシルエットが印象的でした。そして憧れの蘇州、周庄へ。水郷スケッチでは、ゆっくりと写生する人、小舟遊覧する人、各自思い思いに自由行動を楽しみ充実した時間を過ごしました。観光客や外国人以外に中国の方々多く、この国が経済的に豊かになつた事を肌感じました。

最終日は一同スケッチブックを並べ、馬驍先生から一人ずつ丁寧に講評して頂きました。フィナーレは先生のご自宅(馬驍上海事務所)へ伺う事ができました。私の下手な踊りと突然の思ひぬ同好の友の飛び入り

## 新刊案内

### 王荻地画集

王先生画業40年を迎えての記念画の要諦と技法を公開した、これまでになかった実践的な指導書であり、大胆かつ繊細にいきいきと花の命感を描き出し、墨彩画の作例70点のうち45点について、使用した色や用筆点について、絵画の色彩や筆触を解説し、さらに墨彩画の作例70点のうち45点について、使用した色や用筆



\*「花の墨彩画入門」王荻地著

花の墨彩画入門は、王荻地墨彩画の要諦と技法を公開した、これまでになかった実践的な指導書であり、大胆かつ繊細にいきいきと花の命感を描き出し、墨彩画の作例70点のうち45点について、使用した色や用筆



(日販出版社刊2002年3月)



参加者全員で記念撮影。馬驍上海事務所(上海太子公寓)にて。

馬驍水墨画会では忘年会を兼ねた懇親会を開きました。皆さん万障繰り合せ、64名が集まりました。馬驍先生を囲んでの懇親会を楽しみにしていただけに、受付会場は早くから混雑していました。皆さんは新作発表展を終えた清々しいお顔に満面の笑みがこぼれ、再会を喜び合いました。

馬驍先生は、数日前に足の親指を骨折なさいましたが、この日のために車椅子でお越しになりました。皆さんに開まり、皆で楽しく談笑されておられました。

11時より田口副会長の司会により宴が進行され、山崎(重)/柏木の両副会長から平成14年度の活動が報告されました。馬先生より「3年間リハビリを続け、今も皆さんに心配や迷惑を掛けて、申し訳なく思っています。でも、今回の新作発表の作品を見て、皆さんのがずっと勉強を続けられ、努力し、向上している事に感心し、嬉しく思いました。私が病で休んでいる間も、皆さんが馬驍会の為に貢献してくださる事を感謝しております」との挨拶がありました。

馬驍先生を代表して野島(浅)/鈴木(愛)両会員から先生お一人に感謝の言葉を添えて花束が贈呈されました。矢谷副会長の乾杯の音頭で会食が始まり、円卓を開き、会員同



## 馬驍水墨画会懇親会

日時：2002年11月24日  
会場：池袋東方会館

士が大変和やかな時間を過ごしました。

2002年  
NEWS

メディアが伝えた馬驍先生

●季刊水墨画・100号記念誌  
特別企画・アトリエ再訪「馬驍」  
(2002年4月・日貿出版社刊)

其の壱

2002年(平成14年)6月2日(日曜日)

25

埼玉東

2002年(平成14年)6月2日(日曜日)

**絵筆燃え尽きるまで**

79年渡日 草加在住 水墨画家・馬さん個展

26 東京・新宿

馬驍先生宛の山崎美代子さんのお便りより（一部）

その後、如何お過ごしでございますか。私こと、肺炎になり、痰をとるために気管を開いたので、声が出ません。自分の意思が伝えられず、悲しいことです。でも頑張っています。リハビリでパソコンを教わりお便りを打ってみました。退院したら、また、絵を描きたいと思います。

員会立して北国

の春」の大合唱と

なり、参会者全員で馬驍水墨画会の本年の回顧と新年への発展を祈念しながら、2時間半の楽しい懇親会は終了となりました。

**脳梗塞で半身不隨…執念の再起**

26 東京・新宿

馬驍先生の山崎美代子さんのお便りより（一部）

日本への留学経験を持つ父と、静岡出身の母の夫と、北京市で生まれた。馬驍さんは、馬驍さん(62)の個展が26日から、東京都新宿区の伊勢丹で開かれます。馬さんは脳梗塞と筋肉梗塞に倒れ、半身不隨となつたが、手に絵筆を縛り付けて描くという「江戸かっぽれ」の踊りも楽しく振やかに座を盛り上げました。

馬驍先生の山崎美代子さんのお便りより（一部）

彼女は病氣の為、度重なる手術を受けましたが完治せず、その後、右手も不自由となり、車椅子での生活の中で、楽しみの絵を左手で描き続けてこれらました。今回的新作展でも素晴らしい作品を出品し、講評の日には病院を抜け出して来場しました。病と闘いながら、沢山の力大な御尽力を賜りましたことを感謝いたします。2月28日の告別式には、馬驍・王荻地参列し、御靈前に御焼香を捧げ、ご冥福をお祈りしました。



「細かい描写も自信が持てるようになった」と話す馬驍さん

「先生は二度の大病を経験したが、現在は今年六月の個展に向けて新しい作品を取り組んでいます。(中略)そして次の個展でも、独自の手法として定評のある

法を確立し、パリやニューヨーク、ウイーンでも個展を開けるまでになります。医からは「画家として死の境をきよよった。担任は「自分から絵を取ったが、自分から絵を取ったが、自分から命を落とさなくなつた。自信も回復した」と

る水墨と色彩による新作を準備しているが、この間の大きな経験によって、水墨画と禅のつながりを深く認識したという。

先生はその新たなスタートに

たが、今は今年六月の個展に向けた新作を準備しているが、この間の大きな経験によって、水墨画と禅のつながりを深く認識したといふ。

先生はそれを新たにスタートに

たが、今は今年六月の個展に向けた新作を準備しているが、この間の大きな経験によって、水墨画と禅のつながりを深く認識したといふ。

先生はそれを新たにスタートに

馬驍先生宛の山崎美代子さんのお便りより（一部）

彼女は病氣の為、度重なる手術を受けましたが完治せず、その後、右手も不自由となり、車椅子での生活の中で、楽しみの絵を左手で描き続けてこれらました。今回的新作展でも素晴らしい作品を出品し、講評の日には病院を抜け出して来場しました。病と闘いながら、沢山の力大な御尽力を賜りましたことを感謝いたします。2月28日の告別式には、馬驍・王荻地参列し、御靈前に御焼香を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

馬驍先生宛の山崎美代子さんのお便りより（一部）

その後、如何お過ごしでございますか。私こと、肺炎になり、痰をとるために気管を開いたので、声が出ません。自分の意思が伝えられず、悲しいことです。でも頑張っています。リハビリでパソコンを教わりお便りを打ってみました。退院したら、また、絵を描きたいと思います。

高野喜與子様 御逝去

本部常任理事

馬驍水墨画展示館 催事

馬驍水墨画展示館 収蔵展

平成14年度 馬驍水墨画展示館 催事

馬の大躍進展

馬驍水墨画展示館 収蔵展

平成14年度 馬驍水墨画展示館 催事

馬の大躍進展

馬驍水墨画会会報第十号 編集メンバー

柏田山崎重之  
柏木口婦美子  
美保子

馬驍水墨画芸術展(常設展)

馬驍水墨画芸術展(常設展)

馬驍水墨画芸術展(常設展)